



令和5年度 第27号
令和5年10月12日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

10月の学校朝会は「運動会」についてお話ししました。「共に生きるため」の運動会についてです。



10月になりました。1週間が過ぎましたが、今週は運動会が予定されています。

先週の2日(月)は学校朝会でしたので、例年のように運動会にまつわるお話をしました。令和3年度には運動会の歴史についてお話をしましたが、今年度は、その歴史を踏まえて、今を生きる子どもたちにとって運動会で何が大切なのかを話しました。

運動会は、これまで「競争」「合戦」など、ネーミングからして、「競う」「争う」「戦う」ことが中心になっていました。講話の中でも話したのですが、「競う」ことや「争う」ことは自らの資質能力を伸ばすことにもつながりますので、一概に「いけないこと」ではないと考えます。大切なことは、競い合い、争い合った後に、ラグビーで言う「ノーサイド」、つまりわかり合う、認め合う、称えあうことです。実際、スポーツ等ではそのような光景が多く見られます。美しい光景でもあります。しかしながら、これからの社会では、ただ争うだけでなく、「まわりと共に生きること」が、「持続可能な社会」において必要な力になってくると考えるのです。

本荘小学校では、コロナ禍の中、人と人とのつながりが薄れ、一緒に何かに取り組むことが制限されていた令和3年から、「応援合戦」のネーミングを「応援共演」と変えています。子どもたちがやっていること、そして、そのプログラムのために一生懸命に練習をすることは、全く変わっていません。ただ、意識として「相手を打ち負かす」のではなく、「共にエールを送り合う」ことを大事にしました。他の競技でも同じです。その成果は、ぜひ運動会において、その目で確かめられてください。今年度は4年ぶりに、ご来賓や地域の方をお招きしての運動会になります。ご家族の人数制限もありません。PTA役員さん方の提案によって、保護者用テントも皆様のご協力によって設置される予定です。持ち込みテント用のスペースも準備いたします。多くの皆様の前で盛大な運動会になればと考えています。

そして、子どもたちが大人になったときに、今、運動会で学んでいる精神が、社会の役に立てばこれ以上のことはありません。子どもたちは、私の話をしっかりと聞いてくれました。その姿をうれしく、そして、頼もしく思いました。

今年度の運動会テーマは、「69人69色〜一致団結して1人1人がかがやく運動会〜」です。赤白が共演して、一つになり、1人1人の個性を輝かせて、運動会を大成功させてほしいと期待しています。(校長)
(裏面は「校長先生の虫眼鏡」です)

